

コザ信用金庫SDGs宣言

当金庫は昭和29年（1954年）、胡差商工信用協同組合として誕生しました。

昭和46年（1971年）コザ信用金庫に改組し、平成14年（2002年）に沖縄信用金庫と合併して新生「コザ信用金庫」となり、沖縄県唯一の信用金庫として、これまで地域の発展に取り組んでまいりました。

地域密着を標榜する信用金庫の企業理念（ビジョン）は「SDGs」への取り組みそのものです。

コザ信用金庫は、これからも「地域経済の持続的発展」に貢献するため、「しんきんビジョン」を実践し、「SDGs」に取り組んでまいります。

しんきんビジョン

1. 中小企業の健全な発展
2. 豊かな国民生活の実現
3. 地域社会繁栄への奉仕

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs（持続可能な開発目標）とは

「SDGs」とは、2015年の国連総会で加盟国すべてが採択した2030年に向けた世界共通の具体的な行動指針です。持続可能な発展を実現するための17のゴールと169項目のターゲットがあり、「誰一人として取り残されない」をスローガンに、全世界で取り組むものとされています。日本では2016年に内閣総理大臣を本部長とする「SDGs推進本部」が設立され、日本政府の取り組みがスタート。同年12月には「SDGs実施指針」が公表されました。

2021年4月20日
コザ信用金庫
理事長 金城 馨

コザ信用金庫の「SDGs」取り組みについて

1. 中小企業の健全な発展への取り組み



- ・よろず支援拠点との連携、相談会の実施（課題解決、M&A、事業承継支援）
- ・当金庫取引先の会員組織「コザしん経営者友の会」を利用した会員相互の交流、情報提供、経営セミナー視察研修等の実施（異業種交流支援）
- ・県外信用金庫主催の商談会、物産展への取引先出展支援を実施し販路拡大を図る（よい仕事おこしネットワーク、しんきん合同商談会、販路拡大支援）
- ・コザしん創業スクール開講による地域産業の創出支援（創業支援）
- ・新規創業者等に対する金融支援（創業サポートローン、創業支援）
- ・事業承継者等に対する金融支援（事業承継ローン、事業承継支援）
- ・新規創業・事業承継者向けにおきなわ公庫との協調ローン「ベストパートナー」の推進（創業・事業承継支援）
- ・後継者の育成を目的とした「コザしん経営塾」の開催（若手経営者支援）
- ・信金中央金庫や全国の信用金庫のネットワークを活用した取引先支援（販路拡大支援）
- ・外部機関を有効活用した取引先支援「(株)沖縄債権回収サービス等」（課題解決支援）
- ・地方公共団体、商工会議所、商工会との連携・大学、弁護士会、税理士会との連携（課題解決支援）

2. 豊かな国民生活の実現への取り組み



- ・貧困世帯を対象にした寄付活動の継続（沖縄市社会福祉協議会への寄付）
- ・みさと児童園へのボランティア活動（新春もちつき大会、バザー実施）
- ・コザ信用金庫杯学童軟式野球大会の実施（コザしんきんスタジアム開催、沖縄県中部地域）
- ・コザ信用金庫杯少年サッカー大会の実施（那覇市小禄地域）
- ・コザしんママさんバレー大会の実施（沖縄市営体育館）
- ・地域見守り協力に関する協定（那覇市）
- ・地域見守り活動に関する協定（沖縄市社会福祉協議会）
- ・見守りおかえりサポーター認定（宜野湾市・宜野湾市社会福祉協議会）
- ・児童、学生向け金融教育セミナーの開催（コザしんジュニアセミナー）
- ・教育関連ローンの充実（教育プラン、しんきん教育カードローン、クレバー等）
- ・那覇市創業支援講座への講師派遣（企業支援部より講師派遣）

3. 地域社会繁栄への奉仕



- ・コザしん首里城再建応援プロジェクト
- ・コザしん地域振興基金による助成支援（令和2年度助成実績、13団体）
- ・全店舗LED化による省電力・省エネの推進
- ・屋上等にソーラーパネルを設置した太陽光発電の有効的利用
（本店営業部・別館・普天間支店・北谷支店）
- ・ハイブリッド車、EV車を対象としたマイカーローンの金利優遇の実施
- ・社用車にハイブリット車を導入
- ・タブレットを活用したペーパーレス会議システムの導入により紙の使用削減
- ・通帳レスアプリ導入による通帳レスの取り組み
- ・自然災害等による緊急避難場所として本店2階の開放
- ・信用金庫の日(6月15日)に実施している献血運動の継続実施
（金庫、労組、コザしん経営者友の会共催）
- ・信用金庫の日(6月15日)、地域ボランティアの実施による清掃活動
- ・信金中央金庫の地域創生推進スキーム「SCBふるさと応援団」から、沖縄市のスポーツコンベンションシティ推進事業へ1,000万円を寄付（令和3年2月）